

# 第93回 簿記実務検定第1級試験問題

会計

(制限時間 1 時間 30 分)

1

下記の取引の仕訳を示しなさい。ただし、勘定科目は、次のなかからもっとも適当なものを使用すること。

現 金	当 座 預 金	受 取 手 形	売 買 目 的 有 価 証 券
建 物	構 築 物	建 設 仮 勘 定	鉱 業 権
支 払 手 形	買 掛 金	保 証 債 務	社 債
資 本 金	資 本 準 備 金	新 築 積 立 金	繰 越 利 益 剰 余 金
有 価 証 券 利 息	仕 入 割 引	有 価 証 券 売 却 益	有 価 証 券 評 価 益
社 債 償 還 益	保 証 債 務 取 崩 益	仕 入	鉱 業 権 償 却
社 債 利 息	創 立 費	株 式 交 付 費	有 価 証 券 売 却 損
社 債 償 還 損	保 証 債 務 費 用		

- a. 福岡商店から商品 ¥700,000 を仕入れ、代金のうち ¥500,000 は得意先長野商店振り出し、当店あての約束手形を裏書譲渡し、残額は福岡商店あての約束手形を振り出して支払った。なお、保証債務の時価は手形額面金額の $\frac{1}{2}$ とする。
- b. 売買目的で保有している山梨商事株式会社の社債 額面 ¥8,000,000 のうち ¥5,000,000 を額面 ¥100 につき ¥98.60 で売却し、代金は端数利息 ¥46,000 とともに小切手で受け取り、ただちに当座預金とした。ただし、この額面 ¥8,000,000 の社債は、当期に額面 ¥100 につき ¥97.80 で買い入れたものであり、同時に買入手数料 ¥16,000 および端数利息 ¥72,000 を支払っている。
- c. 鹿児島鉱業株式会社は、決算にあたり、生産高比例法を用いて鉱業権を償却した。なお、この鉱業権は ¥187,000,000 で取得し、当期に17,000トンの採掘量があった。ただし、この鉱区の推定埋蔵量は850,000トンであり、鉱業権の残存価額は零 (0) である。
- d. 岐阜商店に対する買掛金 ¥400,000 の支払いにあたり、支払期日前のため、契約によって同店から割引を受け、割引額を差し引いた金額 ¥396,000 を現金で支払った。
- e. 静岡商事株式会社(決算年/回)は、次の条件で発行した社債のうち、額面 ¥30,000,000 を発行後5年目の初頭に額面 ¥100 につき ¥98.70 で買入償還し、小切手を振り出して支払った。なお、社債の評価は償却原価法(定額法)によっている。
- |             |      |             |      |             |        |
|-------------|------|-------------|------|-------------|--------|
| <u>発行条件</u> | 額面総額 | ¥60,000,000 | 払込金額 | 額面 ¥100 につき | ¥97.60 |
|             | 償還期限 | 10年         | 利 率  | 年1.2%       |        |
- f. 愛知商事株式会社は、かねて建築を依頼していた本社社屋が完成し、引き渡しを受けた。よって、建築代金 ¥86,000,000 のうち、すでに支払ってある金額を差し引いて、残額 ¥30,000,000 は小切手を振り出して支払った。なお、取締役会の決議により新築積立金 ¥86,000,000 を取り崩した。
- g. 熊本物産株式会社は、事業規模拡大のため、株式82,000株を1株につき ¥700 で発行し、全額の引き受け・払い込みを受け、払込金は当座預金とした。ただし、払込金額のうち、資本金に計上しない金額は、会社法に規定する最高限度額とした。なお、この株式の発行に要した諸費用 ¥450,000 は小切手を振り出して支払った。



(2) 宮崎商事株式会社の次の資料から、売価還元法によって期末商品棚卸高（原価）を求めなさい。

資 料

	売 価	原 価
i 期首商品棚卸高	¥ 2,800,000	¥ 2,128,000
ii 当期純仕入高	25,020,000	18,737,000
iii 期末商品棚卸高	2,280,000	<input type="text"/>

(3) 次の資料により、令和3年3月31日（連結決算日）における連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書および連結貸借対照表を作成しなさい。

資 料

i 令和3年3月31日における個別財務諸表

損 益 計 算 書				損 益 計 算 書			
P社		令和2年4月/日から令和3年3月31日まで (単位:千円)		S社		令和2年4月/日から令和3年3月31日まで (単位:千円)	
売上原価	210,000	売上高	308,600	売上原価	73,000	売上高	105,000
給料	37,000	受取配当金	5,400	給料	12,000		
当期純利益	67,000			当期純利益	20,000		
	<u>314,000</u>		<u>314,000</u>		<u>105,000</u>		<u>105,000</u>

株 主 資 本 等 変 動 計 算 書

令和2年4月/日から令和3年3月31日まで (単位:千円)

	資 本 金		利益剰余金	
	P社	S社	P社	S社
当期首残高	150,000	36,000	42,000	23,000
当期変動額	剰余金の配当		△18,000	△ 9,000
	当期純利益		67,000	20,000
当期末残高	150,000	36,000	91,000	34,000

貸 借 対 照 表

P社	令和3年3月31日 (単位:千円)
諸資産	214,000
土地	24,000
子会社株式	40,000
	<u>278,000</u>
諸負債	37,000
資本金	150,000
利益剰余金	91,000
	<u>278,000</u>

貸 借 対 照 表

S社	令和3年3月31日 (単位:千円)
諸資産	82,000
土地	2,000
	<u>84,000</u>
諸負債	14,000
資本金	36,000
利益剰余金	34,000
	<u>84,000</u>

ii P社は、令和2年3月31日にS社の発行する株式の60%を40,000千円で取得し支配した。なお、S社の取得日における土地の帳簿価額は2,000千円、時価は3,000千円であり、当期中に土地の売買取引はなかった。また、他の資産および負債の時価は帳簿価額に等しかった。

iii のれんは償却期間10年間とし、定額法により償却する。

iv P社、S社間の債権・債務の取引や資産の売買はなかった。

3

次の各文の  にあてはまるもっとも適当な語を、下記の語群のなかから選び、その番号を記入しなさい。

- a. 企業会計は、すべての取引につき  ア の原則にしたがって、正確な会計帳簿を作成しなければならない。この原則は、網羅的、秩序的かつ明瞭に取引を記録することを求めており、この原則にそった記帳には  イ がもっとも適している。
- b. 会計処理のさい、勘定科目の性質や金額の大小などから判断し、影響が小さいものについては、簡便な方法を採用することができる。これは、 ウ の原則の適用によるものである。たとえば、少額の消耗品について、買入時または払出時に  エ として処理する方法を採用することができる。

- |            |           |          |          |
|------------|-----------|----------|----------|
| 1. 正規の簿記   | 2. 単式簿記   | 3. 単 一 性 | 4. 継 続 性 |
| 5. 重 要 性   | 6. 費 用    | 7. 勘 定 式 | 8. 収 益   |
| 9. 複 式 簿 記 | 10. 報 告 式 |          |          |

4

大分物産株式会社の総勘定元帳勘定残高と付記事項および決算整理事項によって、

- (1) 報告式の損益計算書を完成しなさい。
- (2) 報告式の貸借対照表（資産の部）を完成しなさい。
- (3) 貸借対照表に記載する流動負債合計の金額を求めなさい。

ただし、i 会社計算規則によること。

ii 会計期間は令和2年4月/日から令和3年3月31/日までとする。

#### 元帳勘定残高

現金	¥ 1,243,000	当座預金	¥ 7,340,000	受取手形	¥ 4,800,000
売掛金	3,160,000	貸倒引当金	46,000	売買目的有価証券	5,472,000
繰越商品	6,400,000	仮払法人税等	750,000	備品	4,000,000
備品減価償却累計額	1,000,000	土地	25,920,000	満期保有目的債券	7,720,000
長期貸付金	1,000,000	支払手形	5,040,000	買掛金	4,374,000
仮受金	160,000	手形借入金	2,400,000	長期借入金	7,200,000
退職給付引当金	3,760,000	資本金	28,500,000	資本準備金	4,000,000
利益準備金	3,100,000	新築積立金	900,000	繰越利益剰余金	460,000
売上	94,879,000	受取利息	6,000	有価証券利息	360,000
固定資産売却益	280,000	仕入	74,790,000	給料	4,752,000
発送費	1,520,000	広告料	3,650,000	支払手数料	8,000
支払家賃	2,555,000	保険料	400,000	租税公課	394,000
雑費	271,000	支払利息	120,000	固定資産除却損	200,000

#### 付記事項

- ① 仮受金 ¥160,000 は、佐賀商店に対する売掛金の回収額であることが判明した。
- ② 支払手数料勘定の ¥8,000 は、売買目的で長崎商事株式会社の株式800株を1株につき ¥2,490 で買入れたときの手数料と判明したので、適切な科目に訂正した。

#### 決算整理事項

- a. 期末商品棚卸高 帳簿棚卸数量 2,000個 原価 @ ¥3,500  
 実地棚卸数量 1,950個 正味売却価額 ¥3,300  
 ただし、棚卸減耗損（棚卸減耗費）および商品評価損は売上原価の内訳項目とする。
- b. 貸倒見積高 受取手形と売掛金の期末残高に対し、それぞれ/%と見積もり、貸倒引当金を設定する。
- c. 有価証券評価高 保有する株式および債券は次のとおりである。  
 売買目的有価証券：南北物産株式会社 100株 時価 1株 ¥31,600  
 長崎商事株式会社 800株 時価 1株 ¥2,500  
 ※長崎商事株式会社の株式は、付記事項②のものである。  
 満期保有目的債券：償却原価法によって ¥7,760,000 に評価する。  
 なお、満期日は令和9年3月31日である。
- d. 備品減価償却高 定率法により、毎期の償却率を25%とする。
- e. 保険料前払高 保険料のうち ¥150,000 は、令和3年2月から6か月分の保険料として支払ったものであり、前払高を次期に繰り延べる。
- f. 家賃前払高 ¥365,000
- g. 利息未収高 ¥3,000
- h. 退職給付引当金繰入額 ¥988,000
- i. 法人税・住民税及び事業税額 ¥1,608,000

第93回 簿記実務検定 1級 会 計 [解答用紙]

1

	借 方	貸 方
a		
b		
c		
d		
e		
f		
g		

<b>1</b>	
得点	

<b>2</b>	
得点	

<b>3</b>	
得点	

<b>4</b>	
得点	

総得点	
-----	--

試 験 場 校	受 験 番 号

2

(1)

①

ア	イ	ウ
%	%	%

エ	オ	カ	キ
%	%	回	%

②

千円
----

③

--

(2)

¥
---

(3)

連結損益計算書

P社		令和2年4月/日から令和3年3月3/日まで		(単位：千円)
売上原価	283,000	売上高	413,600	
給料	49,000			
( ) ( )				
当期純利益	( )			
	413,600		413,600	
非支配株主に帰属する当期純利益	( )	当期純利益	( )	
親会社株主に帰属する当期純利益	( )			
( )			( )	

連結株主資本等変動計算書

P社		令和2年4月/日から令和3年3月3/日まで		(単位：千円)
	資本金	利益剰余金	非支配株主持分	
当期首残高	150,000	42,000	24,000	
当期変動額 剰余金の配当		△18,000		
親会社株主に帰属する当期純利益		( )		
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)			( )	
当期末残高	150,000	( )	( )	

連結貸借対照表

P社		令和3年3月3/日		(単位：千円)
諸資産	296,000	諸負債	51,000	
土地 ( )		資本金 ( )		
( ) ( )		利益剰余金 ( )		
		非支配株主持分 ( )		
	( )		( )	

3

ア	イ	ウ	エ

2

得点

3

得点

4

(1)

## 損益計算書

大分物産株式会社

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位：円)

<b>I 売上高</b>			94,879,000
<b>II 売上原価</b>			
1. 期首商品棚卸高	6,400,000		
2. 当期商品仕入高	( )		
合計	( )		
3. 期末商品棚卸高	( )		
	( )		
4. ( )	( )		
5. ( )	( )	( )	
売上総利益			( )
<b>III 販売費及び一般管理費</b>			
1. 給料	4,752,000		
2. 発送費	1,520,000		
3. 広告料	3,650,000		
4. ( )	( )		
5. ( )	( )		
6. ( )	( )		
7. 支払家賃	( )		
8. 保険料	( )		
9. 租税公課	394,000		
10. 雑費	271,000	( )	
営業利益			( )
<b>IV 営業外収益</b>			
1. ( )	( )		
2. ( )	( )	( )	
<b>V 営業外費用</b>			
1. 支払利息	( )		
2. ( )	( )	( )	
経常利益			( )
<b>VI 特別利益</b>			
1. 固定資産売却益	( )	( )	
<b>VII 特別損失</b>			
1. 固定資産除却損	( )	( )	
税引前当期純利益			( )
法人税・住民税及び事業税		( )	
当期純利益			( )

(2)

大分物産株式会社

貸借対照表

令和3年3月31日

(単位：円)

資産の部

I 流動資産

1. 現金預金		8,583,000	
2. 受取手形	4,800,000		
貸倒引当金	( )	( )	
3. 売掛金	( )		
貸倒引当金	( )	( )	
4. ( )		( )	
5. ( )		( )	
6. ( )		( )	
7. ( )		( )	
流動資産合計			( )

II 固定資産

(1) 有形固定資産

1. 備品	4,000,000		
減価償却累計額	( )	( )	
2. 土地		25,920,000	
有形固定資産合計		( )	

(2) 投資その他の資産

1. ( )		( )	
2. ( )		( )	
投資その他の資産合計		( )	
固定資産合計			( )
資産合計			( )

---

負債及び純資産合計 65,298,000

(3)

✂

4	
得点	